

「E-KIZUNA Project 協定」に基づく 三井不動産リアルティ・さいたま市の連携内容

三井不動産リアルティ株式会社とさいたま市は、「E-KIZUNA Project」の推進のため、以下の内容について、共同で取り組むことに合意しました。

取組内容の詳細は、今後両者で協議の上決定し適宜公表していきます。

また、両者は同プロジェクト推進に必要な新たな取組についても検討を続けます。

1. 重点連携項目

環境配慮・非常時対応型駐車場の整備・拡大、利活用の検討
地域の低炭素化とレジリエンス性の向上を目的として、駐車場の新しい価値を地域の方々へ提供し、ひとりでも多くの市民に認識してもらうために、以下の2点を中心に検討していきます。

1. 平時に低炭素で災害時にも充電、出庫が可能な機能確保
2. 災害時における近接道路の、人や物資輸送機能確保

2. 連携項目

充電セーフティネットの構築

- ◆ 複数車両の目的地充電 * が可能な駐車環境の整備
- ◆ 自立分散型電源による災害に強い充電・駐車環境の整備

* 目的地充電: 出掛けた先等での駐車中の充電。対義語は(急速充電などの)経路充電

需要創出とインセンティブの付与

- ◆ 連携する商業施設等への電動モビリティ * 優遇提案
- ◆ 電動モビリティによる低炭素型カーシェアリングの提案

* 電動モビリティ: 電気自動車、燃料電池自動車、超小型モビリティなどの次世代自動車

地域密着型の啓発活動

- ◆ 電動モビリティの展示会や試乗会の開催
- ◆ 電動モビリティの電源利用等の活用方法提案
- ◆ 子どもたちを対象とした電動モビリティ学習会の開催